

「治水」と「環境」の両立を目指して！

～ 大分川・大野川河道管理環境検討委員会における環境配慮の取組 ～

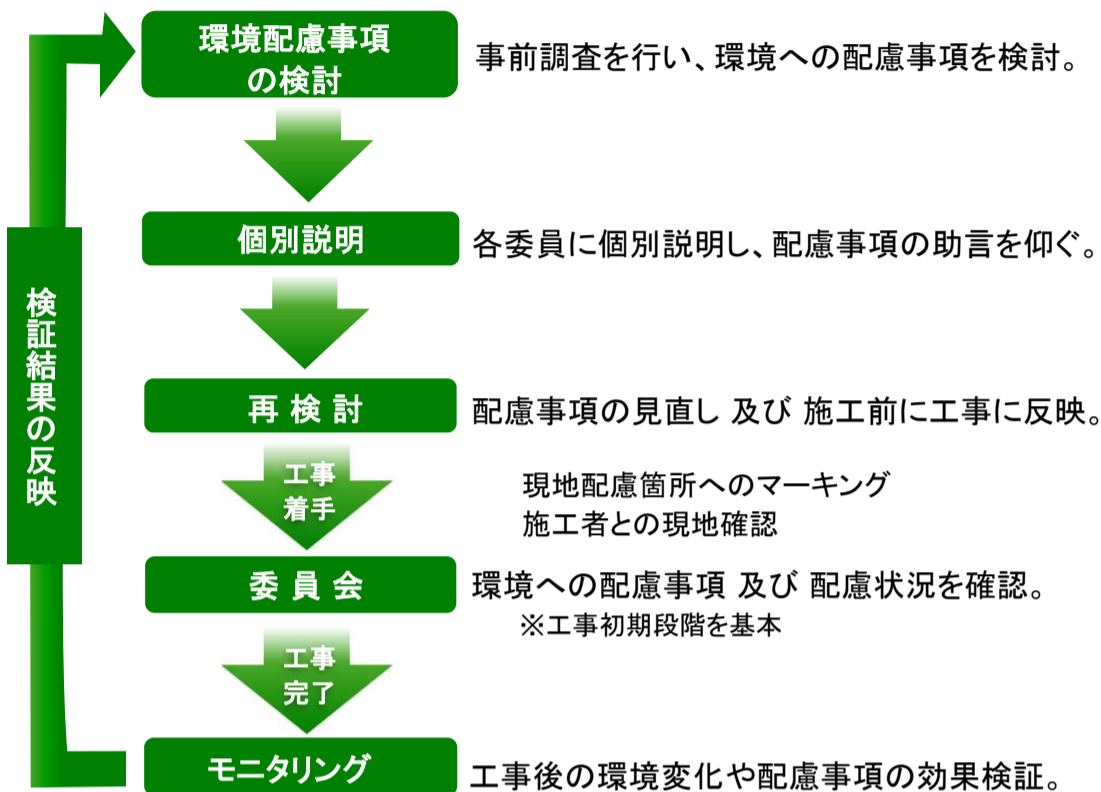
【 委員会の概要 】

大分川水系及び大野川水系の河道掘削や樹木伐採に関して、有識者からの環境面の助言を受けることにより、河川整備や維持管理のより一層の充実を図ることを目的に、平成20年に設立。毎年1回開催し、現在までに17回を開催しています。

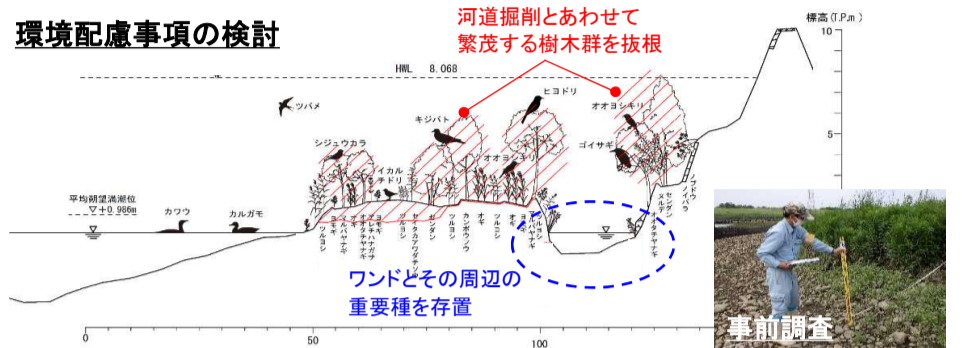
【 委員会の構成（R6. 9月時点） 】

- ・委員長：河川工学の有識者
- ・各委員：動植物や漁業関係の有識者(10名)
河川水辺の国勢調査アドバイザー※、河川環境保全モニター、内水面漁業協同組合ほか
- ※魚類・底生動物・植物・鳥類・両生類・爬虫類・哺乳類・陸上昆虫類

【 委員会の内容 と 工事における環境配慮の進め方 】

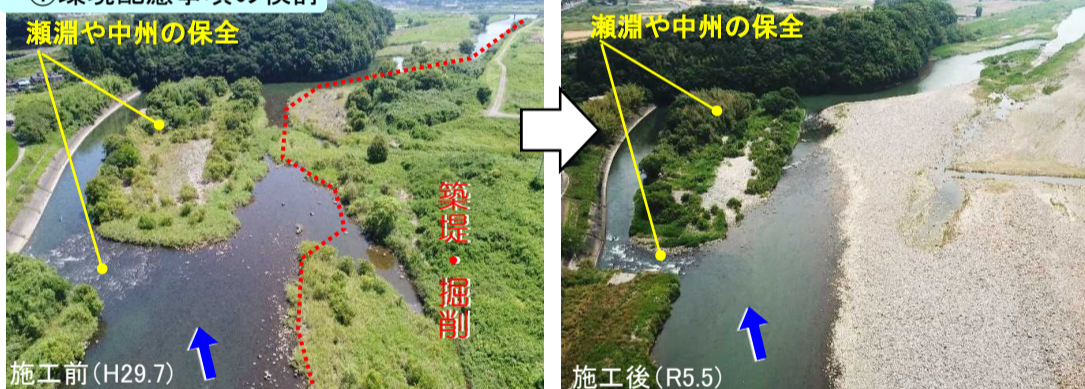


環境配慮事項の検討



【 環境配慮の事例 】 瀬や淵など多様な河川環境の保全・創出

①環境配慮事項の検討



大規模な工事が必要な区間においても、生き物にとって大事な環境は有識者の助言により環境配慮を検討し、川らしい多様な水辺環境を保全・創出する工事を行っています。



②環境配慮事項の施工現場への反映と実施

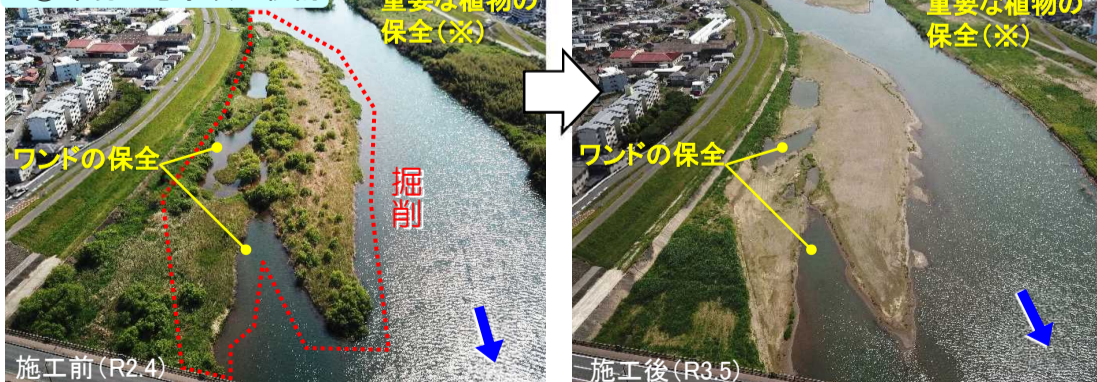


③工事後のモニタリング

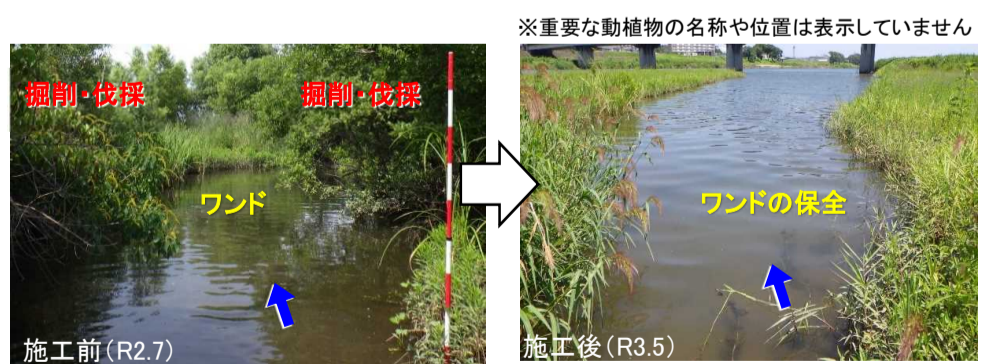


【 環境配慮の事例 】 ワンドや重要な植物の保全

①環境配慮事項の検討



河川の中でも特異な環境の場となっている「ワンド」やその周囲に分布する重要な植物は、有識者の助言により環境配慮を検討し、それを施工現場に反映させて工事を行っています。



②環境配慮事項の施工現場への反映と実施



③工事後のモニタリング

